様式第３号（第１２条関係）

会　議　録

会議の名称	第９回吉川市地域公共交通協議会	
開催日時	令和８年１月２７日（火）	午前10時00分から 午前11時00分まで
開催場所	吉川市役所202・203会議室	
出席委員(者)氏名	大舘　広知、田島　文夫、和佐見　文男、杉岡　耕一、水野　雅通、 吉田　樹、戸張　加代子、鎌滝　和夫、中村　明、浅水　明彦、 中村　喜光、荒川　泰弘、柳沢　勝雄、星座　正俊、野田　妙子	
欠席委員(者)氏名	藤田　直樹、多田　聡（代理：松木猶志）、深井　啓光、関根　肇、 木村　俊樹、濵野　哲久、西野　常博、高木　純子（代理：柴山貴洋） 増田　孝一（代理：中村秋男）、北沢　一樹（代理：松村明彦）	
担当課職員職氏名	都市計画部副部長兼都市計画課長　宗像　浩 都市計画部都市計画課都市計画担当主査　白井　哲也 都市計画部都市計画課都市計画担当主査　林　希 都市計画部都市計画課都市計画担当主事　植田　祐司 計画策定支援受諾者　株式会社ケー・シー・エス　五十嵐・井上	
会議次第と会議の公開又は非公開の別	１　開　会 ２　会長あいさつ ３　議　事 （１）吉川駅南口－新三郷駅西口線の代替交通について （２）吉川市地域公共交通計画（案）に係るパブリックコメントについて （３）吉川市地域公共交通計画（案）について ４　その他 ５　閉　会 ［公開・非公開］　公開	
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)		
傍聴者の数	４名	
会議資料の名称	資料１　吉川駅南口－新三郷駅西口線の代替交通（案）について 資料２　吉川市地域公共交通計画（案）に係るﾊﾟﾌﾞﾘｯｸｺﾒﾝﾄについて 資料３　吉川市地域公共交通計画（案） 参　考　吉川駅南口－新三郷駅西口線の代替交通の運賃等について 参　考　道路運送法第９条第５項に基づき提出された意見	
会議録の作成方法	□録音機器を使用した全文記録 ☑録音機器を使用した要点記録 □要点記録	
会議録確認指定者	柳沢　勝雄、星座　正俊	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
	１　開　会 **２　会長あいさつ** **３　議　事** **（１）吉川駅南口－新三郷駅西口線の代替交通について**
事務局	資料１に基づいて、事務局より説明。 案については、１月２１日に開催された三郷市地域公共交通活性化協議会において、協議が調った旨のご報告をいただいている。
会長	≪質疑・意見≫ 運賃については、この後の運賃協議分科会で決定する予定である。ただし、本協議会で、運賃の考え方や方針については議論することを妨げるものではないことから、運賃に関する考え方について、事務局から補足説明をお願いしたい。
事務局	参考資料に基づいて、事務局より説明。
会長	≪質疑・意見≫ キャッシュレス決済は使用できないと考えてよいか。また、回数券については、マイスカイ交通の三郷市の別路線の回数券と同一のものと見受けられるが、この回数券は新三郷駅から吉川駅間以外の路線でも利用できるという認識でよいのか。
事務局	現状ではキャッシュレス決済は想定していない。また、回数券についてはマイスカイ交通の他路線との共通利用が可能である。マイスカイ交通から補足があれば説明をお願いしたい。
マイスカイ交通	回数券については、営業所とバス車内、三郷市内の委託販売所で取り扱っている。吉川市内の委託販売所については今後検討したい。
会長	バス車内で購入できるのであれば、問題ないと考える。
委員	運賃案について、5年間同じではないのではないかという印象を受ける。諸般の事情により、運賃改定が行われる可能性があると思うが、どのような状況になると、運賃改定が実施されるのか確認したい。
事務局	現時点で明確な基準は定めていないが、民間事業者との均衡を重視しており、他のバス路線で運賃改定が行われた場合には、本路線でも運賃改定を検討することになると考えている。
会長	当該路線は協議運賃となるので、運賃が改定される場合には、その都度、本協議会で意見を伺うことになる。 一般的には、運賃は約2年に1回改定される傾向にある。貸切バスの運賃は安全確保のため、適正な料金体系を維持する必要が生じ、原則2年に1度のペースで改定が行われている。改定時には、運転士を含む職員の給与水準を引き上げることが基本的な考え方の一つとなっている。このた

	め、貸切事業だけが値上がりし、乗合事業が据え置かれる状況になると、乗務員が貸切に流れる恐れがあることから、必要に応じて２年に１度くらいのペースで運賃を見直すということが全国的な流れと感じている。本路線は、協議路線として、吉川市・三郷市の両市からの公的負担を得ながらの運行が前提であり、利用者に適正な負担を求めつつ、高過ぎて利用しづらいということのないよう、皆さんと議論しながら運賃を設定していくものと理解している。
会長	運賃の決定については、このあと開催する運賃協議分科会に委ねることとなるが、その他の内容は当協議会でお諮りをする。代替交通の運行について、案のとおり承認するということでよろしいか。
委員	（異議なし）
会長	「協議が調った証明書」を事務局を通じて発行するので、各種手続きを進めていただきたい。 急な対応の中、本路線を担うマイスカイ交通をはじめ、本路線に携わった皆様には、心より感謝を申し上げる。他の地域では、このような自治体をまたがる取組はなかなかできないことである。ぜひ地域の皆さんには、利用していただき、支えていただきたいと思う。 また、この後開催する運賃協議分科会の委員として、中村喜光委員、杉岡委員、柴山委員、鎌滝委員、中村明委員、戸張委員を指名する。 **（２）吉川市地域公共交通計画（案）に係るパブリックコメントについて** **（３）吉川市地域公共交通計画（案）について** 資料２、資料３に基づいて、事務局より説明。 今回いただいたご意見の趣旨は、すでに本計画の各項目の中に含まれているものと考えており、計画案の記載そのものの変更は行わず、今後、事業に取り組む際の参考とさせていただきたいと考えている。 本日のご意見のほか、今後、国のフィーダー補助金の活用についての計画への記載内容などを調整のうえで、計画を作成するので、このあたりの表記は、会長・事務局にご一任をお願いする。 また、今後、計画の製本までの間に、誤字・脱字・表記ゆれについて再度見直しをさせていただき修正させていただくとともに、関連する写真等の掲載やレイアウトの検討など見やすい計画となるよう調整させていただく。 ≪質疑・意見≫
会長	シンポジウム参加者から意見が寄せられているが、登壇者である星座委員から何か意見はあるか。
星座委員	施設送迎の空き時間の活用や、色々な施設が送迎をしている中で、その送迎業務の効率化ができるのではないかと考え、これまで話をしてきた。しかし、実際にどのような需要が存在するのかや、施設の送迎車両を活用・供給ができるとしたときに、需要とマッチするのかということを考える必要がある。また、可能性を考える上では、関係者間で集まって、各施設の送迎の状況を踏まえながら協議する必要があると考えている。

会長	資料3 の28頁にも事業3-5『輸送資源の活用研究』が示されており、先程の話やシンポジウムでのご提案の内容が記載されている。 31頁の推進体制においても、当協議会のほか、「その他の会議等」という項目の記載もあるが、地域福祉交通について議論する場を設ける必要があると感じている。シンポジウムでの議論を受け、市民の関心も高まっていると考えているが、この点について、事務局の見解を伺いたい。
事務局	福祉施設等の送迎車両等の活用については、検討すべき課題であると捉えている。一方で、現場の実情を把握することや、それを利用したいという市民のニーズの有無、それをどう合致させていくのかということを考えていく必要がある。話し合いの場の必要性は感じているものの、当協議会の分科会という位置づけにしてしまうと、附属機関の会議として、公的な組織運営の様々な手続きが伴うものとなる。庁内各部署との調整もすでに行っているが、まずは実務者レベルで、可能性を模索するため、テーマに応じて、適宜関係者にお声掛けをしながら話し合いを行い、できそうなことからやってみるという姿勢で、小さな取組から検討できればと考えている。
会長	既に庁内も含めて検討いただいているものと理解した。私も発案者の一人であるため、話し合いの場に出席させていただきフォローさせていただきたい。
委員	先程の意見の話し合える場を設置することについては賛成である。シンポジウムで、私も何名かの方から、福祉有償運送をやってる事に対して「私も何かやれることはありますか？」ということを聞かれ、嬉しくまた可能性を感じた。シンポジウムでの質問者の中に、吉川中央病院へのアクセスが困難であるというご意見と、市長へ手紙を送り直訴したというお話もあった。私たちの活動でも行先は圧倒的に吉川中央病院であり、多くの市民が抱える解決すべき問題でもあると思う。一方で、多くの方のこのようなご意見は、市へ要望として寄せられているが、本来は吉川中央病院に対して要望すべきではないのかと考える。利用者が来院に苦労しているということに、病院側が何も示さないことも如何なものかと思う。目的地となる施設の協力は得られないのかということや、目的地側の施設も自分の施設の利用者の移動について考えてほしいと思うので、広がりを持った形で、勉強会のようなことを開催してもらえればと期待している。
会長	吉川中央病院という名称は、パブリックコメントにおいても多く見受けられる。私も現場を確認したが、道路上の制約があるため、大型バスの運行は困難であると考えられる。病院側に歩み寄っていただくということも選択肢の一つであるが、福祉施設等の団体の活動の範囲で、地域の方の移動を助けることができないかという検討と、多くの方が利用される吉川中央病院へのアクセスという検討は、福祉交通を考える話し合いの場で、議題を分けながら議論が必要ではないかと思う。
会長	他にご意見がなければ、案のとおり承認としたいが、よろしいか。
委員	（異議なし）

会長	運輸支局との調整、最終的な体裁などを精査のうえで、計画を取りまとめさせていただきたい。 **４　その他** ・地域公共交通シンポジウムについて ・シェアサイクルについて ・吉川市地域公共交通計画書の送付について 事務局より３点報告を行った。 **５　閉会**

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和８年２月２７日

署名委員　星座　正俊（自署）　　署名委員　柳沢　勝雄（自署）